



第58回糖尿病学の進歩 ランチョンセミナー10

『糖尿病網膜症の予防と早期発見の重要性』

2024年2月16日(金) 12:00~12:50 第10会場 国立京都国際会館 1F Room C-2

座長

岩手医科大学医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科分野 教授

石垣 泰 先生

演者

大阪大学大学院医学系研究科 社会医学講座・公衆衛生学 教授
大阪大学医学部附属病院 AI医療センター 副センター長

川崎 良 先生

※本セミナーは、整理券制です。整理券をお持ちの方から優先的にご入場いただけます。

配布場所：国立京都国際会館 1F ホワイエ

配布時間：2月16日(金) 8:00~11:30

※整理券の有効期限は、セミナー開始時刻までとなります。

※本セミナーは、現地開催のみです。

詳しくは、第58回糖尿病学の進歩ホームページをご参照ください。

<https://site.convention.co.jp/58shimpo/>



第58回糖尿病学の進歩 ランチョンセミナー10 『糖尿病網膜症の予防と早期発見の重要性』

大阪大学大学院医学系研究科 社会医学講座・公衆衛生学 教授
大阪大学医学部附属病院 AI医療センター 副センター長

川崎 良 先生

糖尿病網膜症は今なお成人の失明原因として重要な疾患です。幸いなことに、近年の内科医療、眼科医療の進歩に伴って糖尿病網膜症による視覚障害者認定は減っているということが分かってきました。一方で、臨床の現場ではまだまだ重症例が後を絶たない印象もあります。診療の視点に加えて、予防の視点から糖尿病網膜症を見なおすことで、今後解決すべき課題、残されたギャップが見えてきます。このような現在地点から今後の糖尿病網膜症の予防そして早期発見を推し進めるためには眼科と内科の連携が不可欠です。では具体的にそれをどのようにすすめるのが良いのでしょうか？病態解明や危険因子、保護因子の探索にとどまらず、すでに明らかになっているエビデンスをいかに普及させるか、そのために専門領域の垣根を越えていく覚悟、また、あたらしい技術の積極的な導入などが必要です。今回、糖尿病網膜症にまつわる疫学知見を基に、これからの予防、早期診断、そしてそれが糖尿病と共に生きる患者さんが生涯より良い視機能を維持していくことにつながるか、共に考えるきっかけを提供できればと思います。

眼底撮影装置

Ryan Scope

ライアンスコープ

販売名:眼底撮影装置 Ryan Scope/ライアンスコープ
認証番号:304ADBZX00087000
一般的名称:眼底カメラ
分類:特定保守管理医療機器

画像解析ソフトウェア

Julie Eye

ジュリーアイ

販売名:画像解析ソフトウェア Julie Eye/ジュリーアイ
認証番号:304ADBZX00119000
一般的名称:眼底カメラ用プログラム/眼撮影装置用プログラム
製造販売業者:クレアボ・テクノロジーズ株式会社



第58回糖尿病学の進歩 企業展示会のご案内

開催期間 2024年2月16日(金)、17日(土)
展示会場 国立京都国際会館
展示内容 血糖自己測定器、採血用穿刺器具、
合併症検査機器ほか

※展示品は変更になる可能性があります。

— アークレイからのお知らせ —

LINE公式アカウント「検査のアーレイ(医療従事者用)」

セミナーのご案内や友だち限定のコンテンツなどを配信しています。
アーレイから発行している情報誌などの情報も定期的にご案内しています。

友だち追加は
こちらから

